

特別号

ひこね 市議会だより

彦根市議会に関する市民アンケート 調査結果報告



全議員による市民アンケート封入

1. 調査の概要	2
2. 調査結果	
【1】あなたは、市議会に関心がありますか？	2
【2】市議会に関心がない理由	3
【3】あなたは、市議会に市民の声が反映されていると思われますか？	3
【4】市民の声が反映されていない理由	4
【5】あなたは、「ひこね市議会だより」を読んでいますか？	4
【6】あなたは、市議会のホームページを閲覧したことがありますか？	5
【7】あなたは、市議会を傍聴したことありますか？	5
【8】あなたは、市議会議員の活動に満足していますか？	6
【9】あなたは、市議会議員に何を望みますか？	6
【10】あなたは、どのような議会改革が必要だと思いますか？	7
【11】自由記述の概要	7
3. アンケート調査からわかったこと	8

「彦根市議会に関する市民アンケート調査」の結果を、 市民の皆様にお知らせします。

また、詳細は市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

1. 調査の概要

【調査の目的】

彦根市議会では、今まで、一問一答方式の導入、議場コンサートの開催、さらには議員定数を28人から24人に削減するなど、様々な改革に努めてきました。

今回の調査は、さらに改革を推し進めるため、議会の責務、議員の資質向上などに関する内容を盛り込んだ「議会基本条例」の制定を目指すことを目的に実施しました。

【調査の概要】

調査区域：彦根市全域

調査対象：住民基本台帳から無作為に抽出した3,000世帯

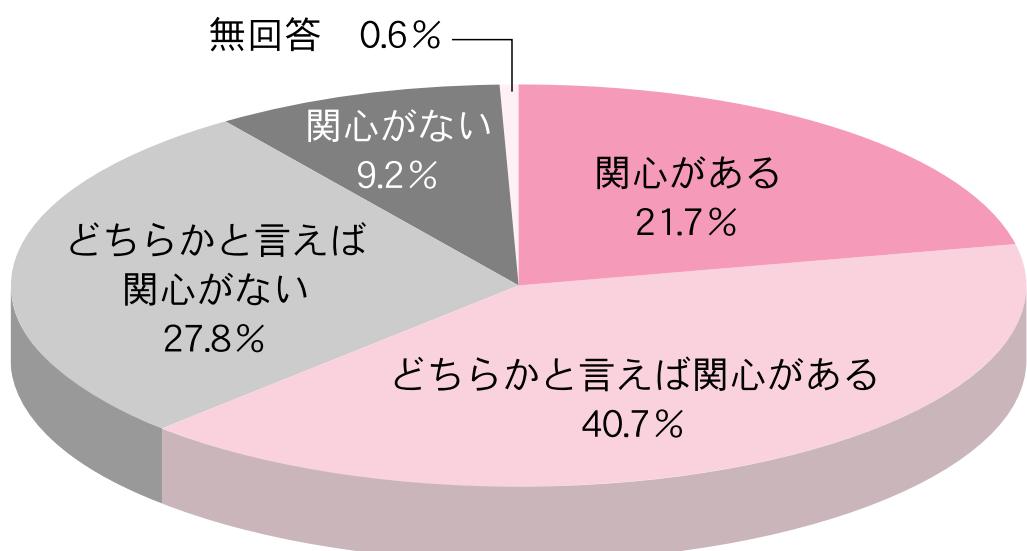
調査時期：平成24年1月10日～1月31日

回答率：35.4% (1,061人)

2. 調査結果

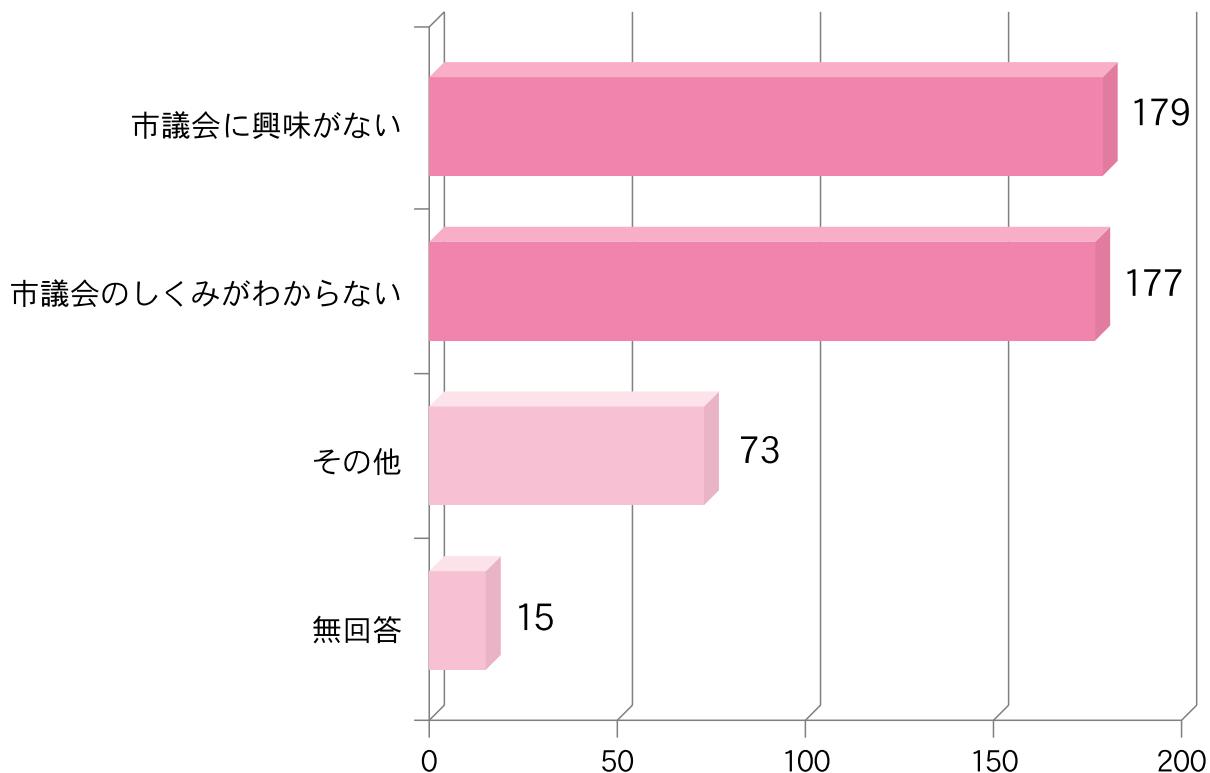
【1】あなたは、市議会に関心がありますか？

「関心がある」(21.7%)、「どちらかと言えば関心がある」(40.7%)と答えた方は62.4%で、約6割が何らかの関心をお持ちであるという結果でした。また、これを年齢層ごとにみると、20歳代が36.4%、30歳代が46.3%、40歳代が48.0%、50歳代が53.5%、60歳代が71.5%、70歳以上が76.5%と、年齢が上がるにつれて関心が高くなるという結果でした。



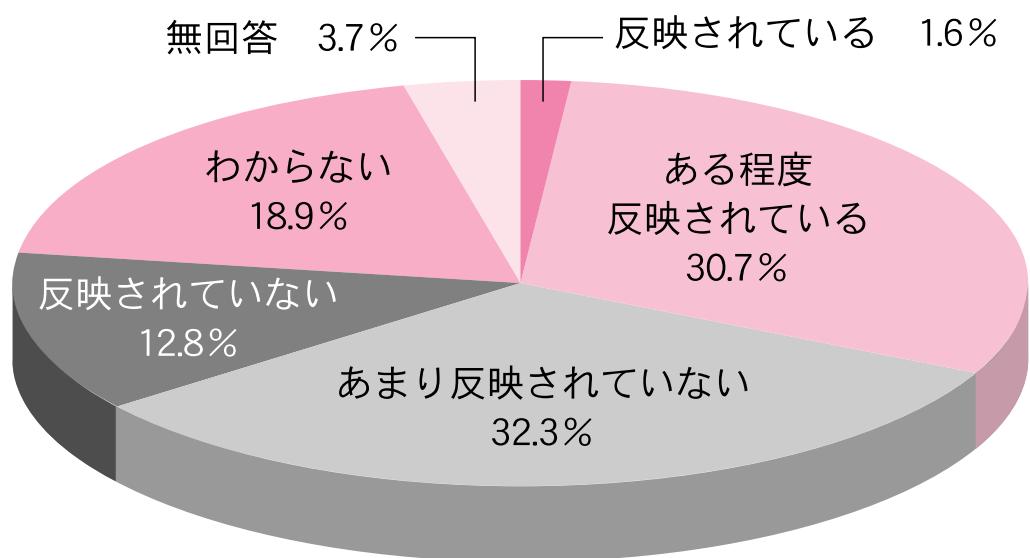
【2】市議会に关心がない理由 (複数回答)

市議会に「関心がない」、「どちらかと言えば関心がない」と答えた393人を対象に、市議会に关心がない理由をお尋ねしたところ、「市議会に興味がない」、「市議会のしくみがわからない」との答えがほぼ同数という結果でした。



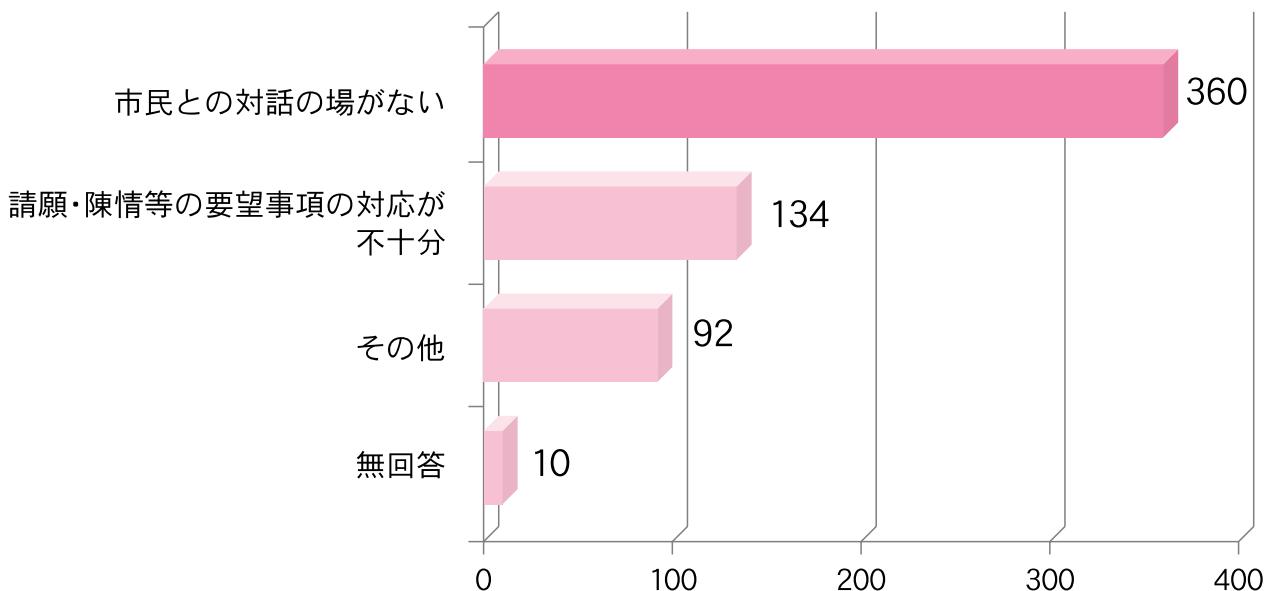
【3】あなたは、市議会に市民の声が反映されていると思われますか？

「反映されていない」(12.8%)、「あまり反映されていない」(32.3%)と答えた方は45.1%で、全体の約半数近くが、市民の声が市議会に反映されていないという結果でした。



【4】市民の声が反映されていない理由 (複数回答)

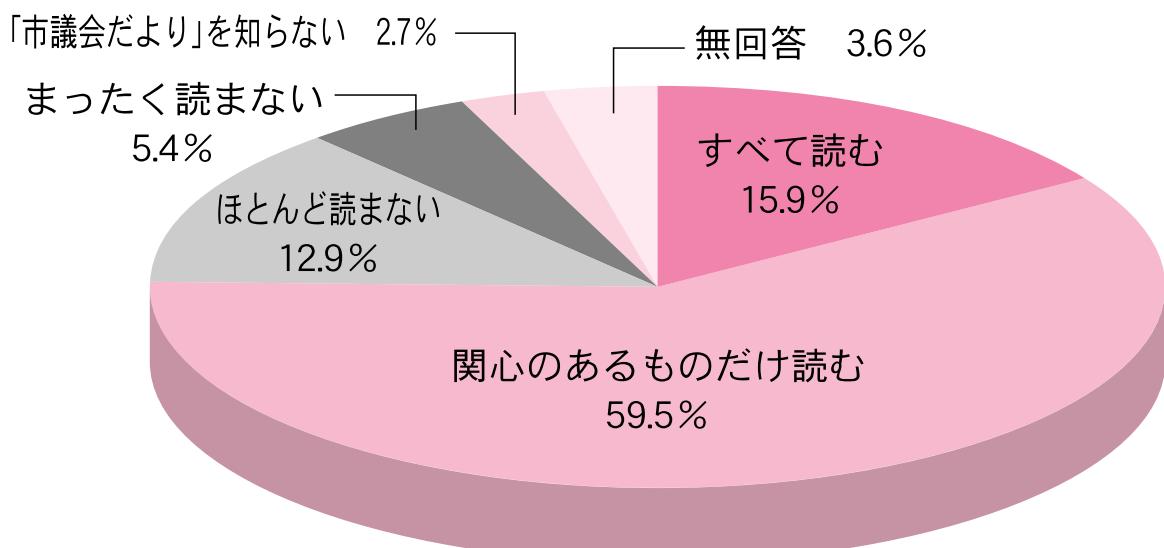
市民の声が「反映されていない」、「あまり反映されていない」と答えた479人を対象に、市民の声が反映されていないと思われる理由をお尋ねしたところ、最も多かったのは、「市議会と市民との対話の場がない」との回答でした。



【5】あなたは、「ひこね市議会だより」を読んでいますか？

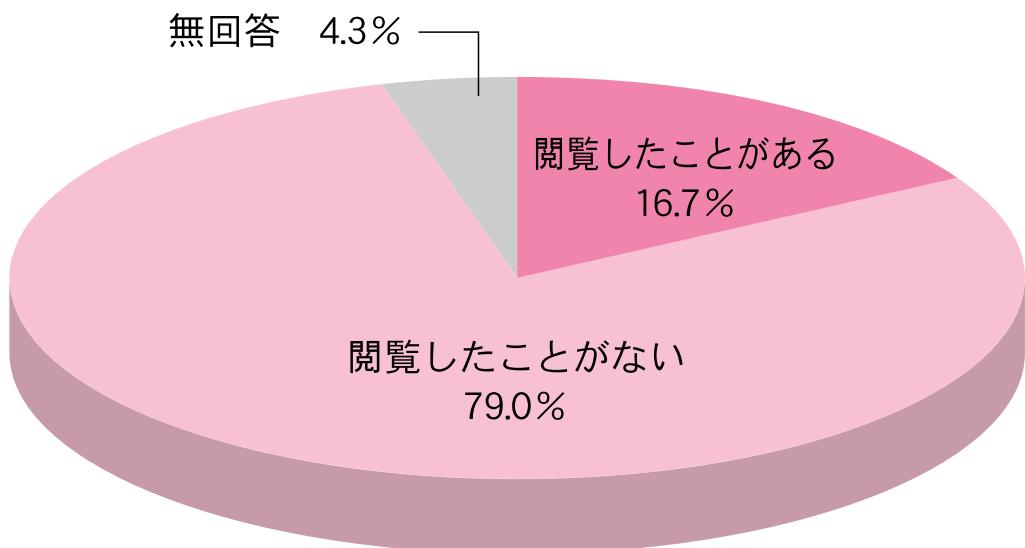
「すべて読む」(15.9%)、「関心のあるものだけ読む」(59.5%)と答えた方は75.4%で、約7割が何らかの形で市議会だよりを読んであられるという結果でした。これを年齢層ごとにみると、30歳代が71.3%、40歳代が67.8%、50歳代が74.8%、60歳代が82.2%、70歳以上が80.4%と高い割合で読まれていますが、20歳代では33.3%と、読まれる割合が低くなっています。

また、30歳代以上では、「市議会だよりを知らない」と答えた方はほとんどおられませんでしたが、20歳代では、「市議会だよりを知らない」と答えた方が24.2%という結果でした。



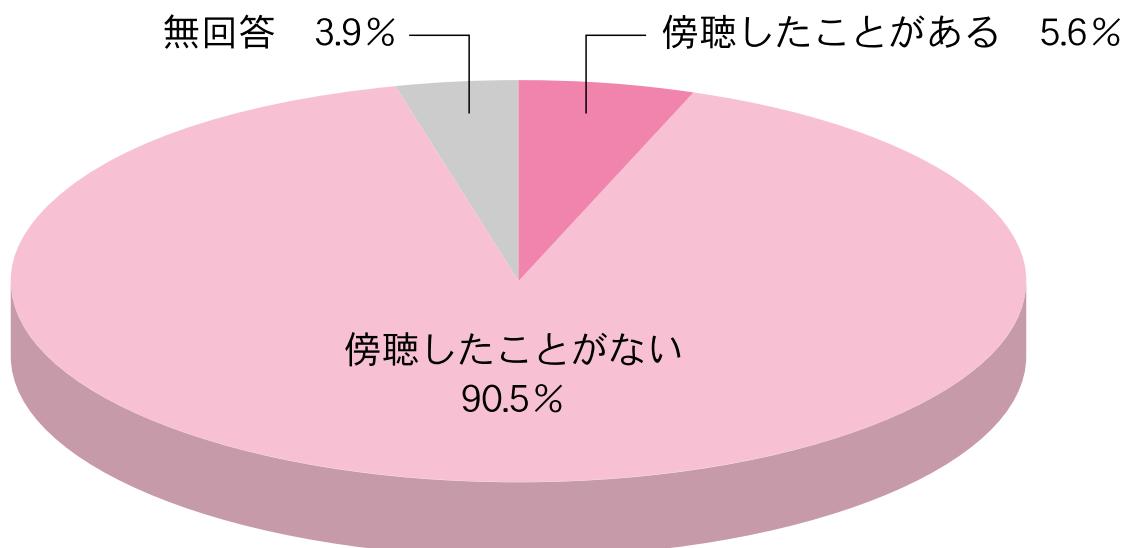
【6】あなたは、市議会のホームページを閲覧したことがありますか？

市議会のホームページを「閲覧したことがある」と答えた方は16.7%でした。これを年齢層ごとにみると、40歳代が21.1%、50歳代が23.3%、60歳代が19.0%と、約2割が閲覧されていました。これに対し、20歳代が9.1%、30歳代が12.0%、70歳以上が10.9%と、閲覧されている割合は、約1割という結果でした。



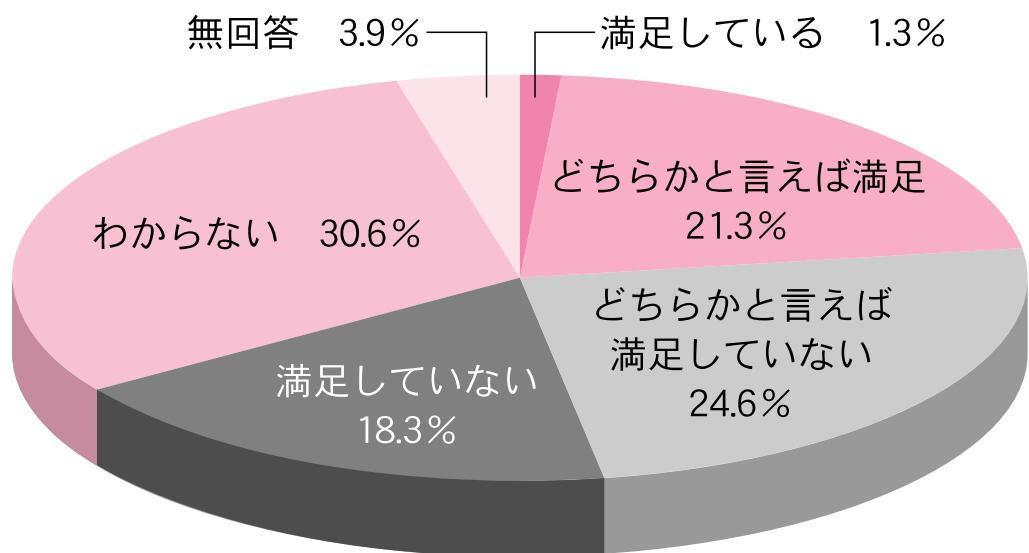
【7】あなたは、市議会を傍聴したことがありますか？

市議会を「傍聴したことがある」と答えた方は5.6%でした。「傍聴したことがある」と答えた方の85%が50歳以上の方でした。



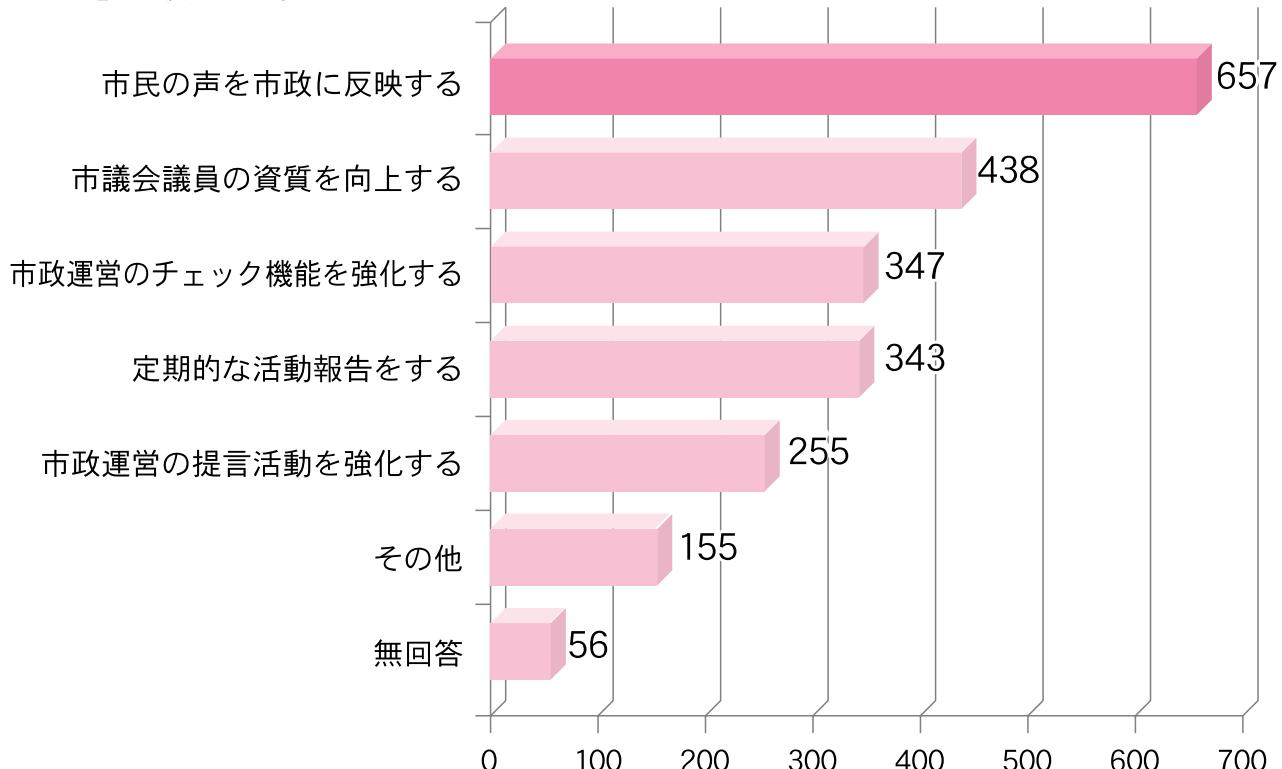
【8】あなたは、市議会議員の活動に満足していますか？

市議会議員の活動に「満足している」(1.3%)、「どちらかと言えば満足している」(21.3%)と答えた方は22.6%で、約2割が満足しているという結果でした。これに対し、「どちらかと言えば満足していない」(24.6%)、「満足していない」(18.3%)と答えた方は42.9%で、約4割が満足していないという結果でした。



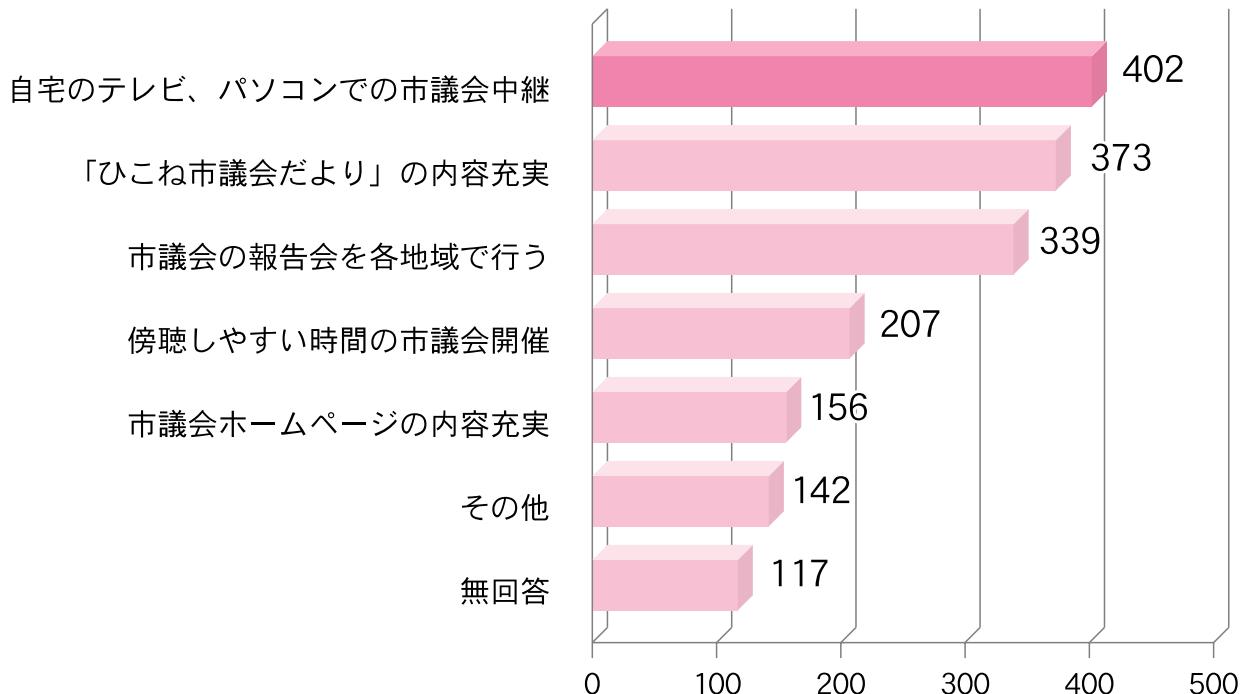
【9】あなたは、市議会議員に何を望みますか？（複数回答）

最も多い回答は、「市民の声を市政に反映する」でした。次いで「市議会議員の資質を向上する」の順でした。



【10】あなたは、どのような議会改革が必要だと思いますか？（複数回答）

最も多い回答は、「自宅のテレビやパソコンで市議会の中継を見られるようにする」でした。次いで、「『ひこね市議会だより』の内容を充実する」の順でした。

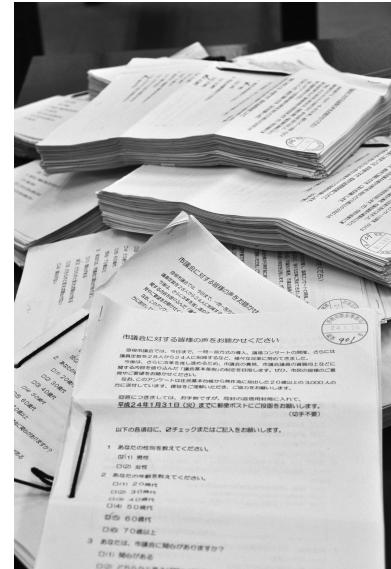


【11】自由記述の概要

市議会へのご意見・ご要望として、1,095件お寄せいただきました。

その内容は、議会や議員に対する苦言として、「議員の資質向上をはかる」、「議会や議員の活動がみえない」、「市民との対話の場がない」、「市民や地域の声が市政に反映されていない」などです。また、「市政に対する要望」、「議員定数や議員報酬に関すること」、「わかりやすい情報の公開」、「議会や議員に対する励ましや要望」など、貴重なご意見をいただきました。

市民の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、彦根市議会としてさらに改革を進めるために議論していきます。



議会に届けられた、たくさんのご意見

※詳細は、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

彦根市公式HPトップ

⇒「市民のみなさまへ」のなかの「市勢の情報」をクリック

⇒「主な組織」のなかの「市議会」をクリック ⇒市民アンケート結果を公表します

3. アンケート調査からわかったこと

- 市議会に『関心を持っている』方は、約6割。また、若い世代より年齢が上がるにつれて、関心の割合が高くなることもわかりました。一方、市議会に『関心がない』理由として、「興味がない」「しくみがわからない」と答えられた方が多いことから、市議会の活動が広く市民に知られていないと考えられます。
- 市議会に『市民の声が反映されていない』と答えられた方は、約5割。また、『わからない』と答えられた方は、約2割でした。『市民の声が反映されていない』理由として、「市民との対話の場がない」と答えられた方が多くありました。
- 議会が発行する『ひこね市議会だより』を読んであられる方は、約7割。また、若い世代より年齢が上がるにつれて読まれている割合も高くなることもわかりました。市民にとってより身近な情報源であると考えられます。
- 市議会のホームページを『閲覧したことがない』方は、約8割。『閲覧したことがある』方は、40歳代～60歳代が約2割、20歳代～30歳代と70歳以上は約1割でした。
- 市議会を『傍聴をしたことがない』方は、約9割。『傍聴をしたことがある』方の約8割は、50歳以上の方でした。
- 議員の活動に『満足している』方は約2割に対して、『満足していない』方が約4割。また、『わからない』と答えられた方が、約3割でした。
- 議会改革の内容では、「テレビ、パソコンでの市議会中継」「ひこね市議会だよりの内容充実」「市議会の報告会」を望む声が多くありました。

【まとめ】

今回の市民アンケートで、議会に関心はあるが、市議会のホームページの閲覧や議会傍聴は少なく『ひこね市議会だより』が重要な情報源であることがわかりました。一方、『テレビやパソコンでの議会中継』を求める声が多く、様々な手段を使って情報提供していくことが必要であるとわかりました。

また、議会や議員の活動がみえないという声が多く、市民と議会や議員との意見交換を求める声があり、議会報告会の開催など必要と考えます。

【おわりに】

このたびのアンケート調査で、市民の皆様が「議会をどのように感じてあられるのか」、「議会に何を求めてあられるのか」を知ることが出来ました。今後は、このアンケートの結果を参考にしながら、市民から信頼される議会であるために『議会基本条例』の制定を目指し、議会改革に向けたより活発な議論を重ねてまいります。

最後に、本アンケート調査にご理解とご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。